

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月13日

計画の名称	多目的交流施設整備計画													
計画の期間	令和05年度 ～ 令和06年度（2年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	土庄町													
計画の目標	土庄町では、廃校である旧土庄高校の校舎を「土庄町多目的交流施設（愛称：とのたる館）」と名称を改め、2階部分を「放課後子供教室」とし、1階をレンタルオフィス、3階をシェアオフィス、サテライトオフィス、コワーキングスペース、サテライトキャンパスとして活用することとしてサテライトオフィスやテレワーク環境の整備を行い、合わせて空調設備の設置、スマートフォンから利用申請をして電子鍵を受け取り入退室を行えるようにするための電子錠設備の整備、防犯カメラ設備の設置を行うことでより快適な利用環境の構築を行う。 施設整備後は、広く周知し、島外からの企業誘致や雇用の創出、交流人口の増加や移住・定住を図るとともに、大学等のサテライトキャンパスの稼働により大学生と地域住民や企業との交流を図り、地域の活性化を目標とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		32	A	32	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R5	R6
1	シェアオフィス、コワーキングスペースの利用可能人数			
	Wi-Fi設備環境や事務机等備品整備によるワークスペース数 20席以上	0席	10席	20席
2	サテライトオフィスの受け入れ可能部屋数			
	空調設備の導入室数 5部屋	0部屋	2部屋	5部屋

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	定住誘引	離島	土庄町	直接	土庄町	-	-	多目的交流施設整備事業	Wi - Fi環境整備工事、電子錠 整備工事、空調設備工事、防 犯カメラ整備工事	土庄町	■	■				32		-	
												小計						32		
												合計						32		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況、整備後の利用状況等、その要因の確認・分析により事後評価を実施	令和8年3月
	公表の方法
	町ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本事業では、廃校となった高校校舎の3階にコワーキングスペース、サテライトキャンパス、サテライトオフィス等を整備した。令和7年6月から「ユカリノSPACE小豆島」として運用を開始し、大学生や移住者、Uターン者等の利用や、セミナーやイベント、大学との連携事業の場として幅広く利用されている。 (令和7年6月から令和8年2月の利用人数：1817人)
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	本町では、大学との域学連携事業を行っており、本施設は、大学生の学びの場ともなっている。地域課題の解決や活性化、関係人口の創出に効果が期待される。

○特記事項(今後の方針等)

本施設は、指定緊急避難所であり、今後、屋外避難階段を改修する予定である。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	Wi-Fi設備環境や事務机等の備品整備によるワークスペース数		
	最 終 目標値	20席	
	最 終 実績値	30席	
2	空調設備の導入室数		
	最 終 目標値	5部屋	
	最 終 実績値	5部屋	